

# 好天の文化祭 大盛況!

## 1. はじめに

「第49回小久慈町民文化祭」は、今年は例年より2週間繰り上げ、10月28日(日)に小久慈市民センターで開催、当日は全日無風の好天で絶好の文化祭日和となり、9時の開会放送を待ちかねホールが一杯になりました。

## 2. 各部門では

今年、開催している「小久慈朝市」の成果で、「農産物コーナー」の出店者も多く、田楽、体協、恵水園等、広場販売部門も充実しました。体育館の展示、販売部門も、籐工芸、吊し雛、各種手芸品、アクセサリ、リサイクル、フクロウの置物、木の根細工、陶芸教室の小久慈焼、山根カービング教室の作品、絵画、写真、保育園、学童保育、小・中学校の作品、センター事業の紹介等盛りだくさんでした。喫茶コーナー、ばあばカフェ、2階の食堂部門等屋過ぎまで大盛況です。



## 3. 未来づくり事業「チーム活動」報告

11時から、ステージ前で、未来づくり事業で活動している「4チーム」の活動報告です。「朝市チーム」は実施した4回の朝市の大盛況と11月の「今年最後の朝市」の呼び込みを行いました。「カフェチーム」は、朝市へ「自家焙煎コーヒー」を出店した様子の報告。「小久慈焼チーム」は2回の「小久慈焼陶芸教室」と、4回行った小久慈焼施設の環境整備、朝市への出店協力等報告。「桜の名所チーム」は「名所パンフレット」を、町内の企業による賛助金やコミュニティ補助で5,000部作成し、3月には各家庭に配布、観光施設、タクシー等観光事業者にもお願いし、小久慈の「桜の名所」を紹介する取り組みを多くの皆さんに報告しました。

## 4. 演芸部門は盛りだくさん

午後5時から芸能部門のスタートです。県道からの通路には小久慈焼陶芸教室作品の「夢あかり」の点灯により「ほのかなロウソクの灯り」で「ウェルカム」です。

今年は「あいさつ標語コンクールの表彰式」からスタートです。そして、小久慈小学校の合唱、前日文化祭が終わったばかりでしたが長内中学校の「長中ソーラン」に続き、「ふるさと未来づくり事業」の経過について、地域づくり振興課よりスライドを使用し報告がありました。

秋葉の「謎の男?」による「勝手にしやがれ」は、公演中止を心配しましたが、会場はノリノリで拍手喝采、「コーラスけやき」は、「久慈溪流小唄」をコーラス用にアレンジし、太鼓やかけ声の入った新時代の久慈溪流小唄を聴かせてくれました。

今年で連続6回目の上日当町内会の創作劇の上演は「うらしま太郎とゆかいな仲間たち」です。浦島太郎を竜宮城から救い出す新バージョンで、乙姫様のクイズに正解し、故郷に帰り「良い小久慈を創ろう」と結ばれました。

また、創作ダンス、ヒップホップ、マドロス物等幅広いジャンルで観客を魅了、今年のステージ部門は実質19演目となり、平成28年の「台風10号」での中止から、完全に従来文化祭に復活できました。

## 5. 大成功の文化祭、感謝・感謝

文化祭は、センター、各町内会や体協、女性部、老人クラブ、コーラス等の各団体の熱心な取り組み、ご協力により実行できます。また、生産物や手芸・工芸品、絵画・写真等の作品の創造と出品によるもので、全ての皆さんに感謝申し上げます。

今年の文化祭入場者は、昼の部は食券販売数等を参考にスタッフも含め1,370名となり、ステージ部門は、出演者も含め526名で合計概ね1,890名となりました。

「ステージ部門は多彩で楽しかった。皆で大笑いした。」等の感想が寄せられています。

改めて、第49回小久慈町民文化祭の大成功を確認し、全ての皆さんのご協力に感謝申し上げます。



幸町からバブリーダンサーがやってきました



お見事！チアダンス！琥珀町内会

平成最後の敬老会

# 和やかに盛大に

## 9月8日(土)にロイヤルパークカワサキで開催

小久慈地区敬老会は毎年「9月第一土曜日」を恒例として開催していますが、今年は会場の都合等により、「第二土曜日」の9月8日11時よりロイヤルパークカワサキで開催しました。

各町内を4コースでバスに分乗しご参加頂き、会場に着いた町内毎に記念写真撮影を行い、直ちにプリントし帰りには持ち帰りとしており、写真スタッフは大忙しです。

写真撮影後、テーブルに着き、ご来賓の皆さんを迎え開催となります。

今年の敬老会対象者は昭和19年4月1日までに生まれた方々で、小久慈地区には583名いらっしゃいます。当日の参加者は例年同様約150名の皆さんです。

ご来賓、各町内会長、各民生委員、まちづくりスタッフを含め約220名での大祝宴となりました。

開会冒頭、主催者である「鹿糠勇まちづくり協議会会長」より、参会の皆様ご来賓の皆様にお礼を申し上げ「戦後の焼土と化した国土の復興再建のためご尽力され、今日の久慈市・小久慈町を築いて頂きました。最近「一國主義」等、きな臭くなって来ました。平和の大切さを語り継いで頂きますようお願いいたします」と挨拶がありました。

来賓を代表して遠藤久慈市長は「長寿の時代を迎えています。健康で長生きするには、人と会うのが一番の薬であり、地域の活動に積極的に参加して頂きたい。来年も会えることを楽しみにしています」とご挨拶を戴きました。

次に久慈市社会福祉協議会の日當会長より「健康年齢と平均寿命が段々近づいている。運動と食事が大切、地域のコミュニティに参加し、頭を使い、楽しく過ごすことが大切」と激励して戴きました。

各議員の皆さん等20名のご来賓の皆さんの紹介後、八重桜市議会議員のご発声により、カンパイル祝宴に入りました。

続くアトラクションは、まちづくり協議会の中村アツ子総務委員長の進行で、保育園、小・中学校、コーラス、各地区等約140名の皆さんより楽しませて頂きました。お孫さん達の可愛いステージに微笑みっぱなしでした。

「コーラスけやき」には「黒一点」として三重県津市出身の地域おこし協力隊(山根市民センター勤務)の田端涼輔さんが参加しており、注目を集めました。

敬老会のメは、「ナニヤトヤラ」です。遠藤市長も盆踊りの輪に入り、「今年最後の盆踊り」として、大勢の参加で会場一杯の輪で踊りが繰り広げられました。来年もお元気でご参加戴きますようご祈念申し上げます。



かわいいダンス：小久慈保育園



元気を届ける：小久慈小学校4年生



会場を盛り上げる：長中ソーラン隊 義会敬老会

小久慈

# まちづくり通信

第 43 号

平成 30 年 12 月 1 日

小久慈まちづくり協議会広報委員会

久慈市小久慈町 21-47-14

小久慈市民センター 電話 59-3051

2・3頁 小久慈朝市  
4ページ 文化祭

# 今年最後の朝市「好天で大盛況」

～地域の交流の場としても成果～

## 1. 7時50分開会宣言

11月11日(日)平成最後の「小久慈朝市」が、心配された天気にも恵まれ、14店の出店で大盛況に開催されました。

午前6時30分には、スタッフより早くタクシーで来場した常連のお客様もあり、7時30分から、スタッフがハンドマイクで何度も「8時より開店です。もう少しお待ち下さい」とコールしましたが、各店に常連のお客様が大勢並んでいることから、今年最後の朝市でもあり、これまで以上に多くのお客様が待ちかねるなか、「10分前」の7時50分「開会宣言」です。

## 2. 大行列、大盛況

十文字チキンカンパニーを始め、カフェやお団子、新米、リンゴや野菜等に行列が出来ています。

今年最後であり、出店者も多く、来場者も8時30分頃には最大となりました。天気も良く、カフェチームの自家焙煎コーヒーの香りが漂い、休み所ではコーヒーを飲みながら談笑する姿も見られます。

新米などを車まで運ぶスタッフも頑張っています。

## 3. 9時30分完売で閉店

9時過ぎには完売の店も出始め、9時30分には全店完売となりました。

今年最後の朝市は、来場者も最高の500人を数え、「来年も是非」と声を掛け合いながら、大盛況の朝市を閉会しました。

今年初めての「朝市」は、歴史民俗資料室の開館等各方面に大変お世話になり開催出来ました。

改めて御礼申し上げます。

## 4. 来年も朝市を

各出店者の皆さん、そして、小久慈で各種野菜等の生産者の皆さんに、来年も朝市を開催することをお約束し、来年の「朝市に向けた作付け」など、お願い申し上げます。

開店前から長蛇の列(十文字チキンカンパニー)



買い物客で賑わう朝市会場



7月11日(第1回) ~ 11月11日(第5回) 小久慈朝市

# 朝市反省会開催—充実した朝市に向けて

## 1. 出店者等40名が参加

今年の5回の朝市が終了したことから、出店者の皆さんと「ふるさと未来づくり事業」の「朝市チーム」そして、まちづくり協議会の役員、久慈市地域づくり振興課、NPO法人やませデザイン会議の皆さん約40名の参加で、「今年の朝市反省会・懇親会」を11月18日(日)に小久慈市民センターで開催しました。

## 2. 「良かったところ」「直すところ」は

17時から、久慈市地域づくり振興課二又係長の進行で、「朝市の良かったところ」や「直したいところ」を話合いました。

「楽しければ良いと思い参加した。毎月楽しかった」、「来てくれた皆さんと話が出来て楽しかった、小遣いにもなる」、「お客さんの期待もあり、励みになった」、「毎回来場者が多く、来年に向けてホップ、ステップ、ジャンプとなる」、「チーム、スタッフの皆さんに支えられて助かった、ありがとうございました」等の感想が出され、また、「毎月売り場を変えるのは如何なものか」、「始まるの時間を守る工夫が必要」等約30分間意見交換を行いました。

朝市チームの目標は「地域の交流の場を創る」「地域内のお金の循環」「地産地消の推進」等でしたが、皆さんのご意見により、概ね目標はクリアしたと思います。

## 3. お礼の挨拶と「カンパイ」

懇親会はまちづくり協議会八屋事務局長の進行で、鹿糠会長からお礼の挨拶、出店者に何回も訪問して、朝市の準備をした朝市チームの渡邊悦男さんより感謝の挨拶、そしてチームリーダーの久慈信さんのカンパイで懇親会に入りました。

出店者やチーム、スタッフが、あちこちでコップを注ぎ交わし、談笑しながら、来年も「小久慈朝市」を開催することを誓い合い、渡邊さんの中締めで散会しました。

# 地域と連携した「小久慈朝市」

「地域づくり交流・連携フォーラム」で報告

## 1. はじめに

岩手県とNPO活動交流センターでは、地域で頑張っている団体の「活動を知り、輪を拡げること」を目的に、「地域づくり交流・連携フォーラム」**出合いが繋ぐ新しい地域のカタチ**を、10月27日(土)に久慈市中央市民センターで開催しました、12月1日(土)には奥州会場で開催します。

## 2. 久慈会場では4市町村より報告

久慈会場は「NPO法人やませデザイン会議」が協力団体として準備し、当日は9時30分から大島誠氏(日本NPOセンター副理事長)より基調講演「皆でつくる地域資源を活かしたまち」があり、続いて第2部「地域の活動団体の事例紹介」です。

## 3. まちづくり協議会は「朝市」を報告

小久慈まちづくり協議会では、やませデザイン会議のご協力で、映像も使って「地域と連携した『小久慈朝市』」と題し、朝市サブリーダー渡邊悦男さんと、まちづくり協議会八屋勉事務局長が事例紹介しました。

内容は概ね、①小久慈まちづくり協議会とは、②未来づくり事業を取り組むに当たって、③小久慈朝市チームの活動、④飲みの「第1回小久慈朝市」、⑤朝市を通じたまちづくり、等を報告しました。

今後、朝市の組織体制を強化、「地産地消」を推進し「お金の地域内循環」を目指し「地域の交流の場」を創りたいと結びました。

小久慈文化祭の前日であり、準備に忙しい日でしたが、県やNPO関係者の皆さんに「小久慈朝市」を報告し、講師や参加者の皆さんから高い評価を頂きました。

小久慈まちづくり協議会事務局長 八屋 勉



発表する八屋事務局長と渡邊さん(右)

活動事例紹介(各市町村1題)  
洋野町: 玉川あねっ娘の会  
久慈市: 小久慈まちづくり協議会  
野田村: NPO法人 風花  
普代村: 地域おこし協力隊 山火智美さん